需要対応の小区画スペース

アライプロバンス葛西A棟

アライプロバンス

アライプロバンスは、物流不動産デベロッパー事業としては浦安に次ぐ第2号プロジェクト「アライプロバンス葛西A棟」を紹介する。竣工は8月の予定。

同社前身の新井鉄工所・江戸川工場跡地に開発するもので、東京23区内湾岸エリアで稀少な1万5000坪に開発中だ。

A棟は5階建て、延べ床面積8万7182平方㍍の規模で開発中。東京都心から10㌔㍍圏内に位置、周辺には陸・空へのアクセスが充実する物流拠点として最適なエリアだ。

テナントニーズに応じた小区画スペース割りを行う「ハイパースペース・ロジスティクス」に対応。防火区画に相当する350坪（1157平方㍍）を基本設計に、倉庫用途以外ではスタジオ、調理場などへの活用も見込む。

リーシング状況も順調に進み、食品を中心とするネットスーパーのテナントも決定した。

施設テーマは遊び心のある空間。旧江戸川に調和した地域性を生かし、開かれたアート庭園や緑道を設ける。

ランドスケープのデザインは、ルイ・ヴィトンのポップアップストアや瀬戸内醸造所の設計を手がける建築家・菅原大輔氏が担当する。同氏はアライプロバンス浦安でも「道の庭」、「海の庭」などを生み出し、物流施設では例がないグッドデザイン賞を受賞した。

葛西A棟においても四季折々の花を植栽し、明るく開放的な空間を演出する。アート庭園では働く人の憩いの場を創出し、住民にも開放する。

アライプロバンスでは、2024年問題への対応として、物流拠点再編、雇用問題、物流リードタイムの削減などを提案する。

（ブース018）

アライプロバンス葛西A棟